



概要版

# 第1次 菊川市 総合計画

後期基本計画

～2016【平成28年度まで】



# 1 総合計画の構成

第1次菊川市総合計画は、菊川市の行政運営及びまちづくりの総合的な指針となるもので、「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」により構成されています。

「基本構想」はまちづくりの基本理念や菊川市が目指す将来像を示し、「基本計画」は基本構想を実現するための基本的な施策の方向性を示すものです。また、「実施計画」は基本計画に基づく各種事務事業のより具体的な実施のスケジュールを定め、予算編成など菊川市の経営方針となるものです。



基本構想⇒基本計画⇒実施計画の順で、より具体的な内容となります。

基本計画では、基本構想で目標とした将来像を実現するため、菊川市の現状や将来像を考えた上で基本方針ごとに施策を体系的に示します。

基本構想で定めた7つの「基本方針」を38の「施策の柱」に分け、この「施策の柱」をさらに121の「主要な施策」に分け、「主要な施策」をさらに「主要な事業」に分けていくことで、基本方針の目的達成のための手段をより具体的な実施内容としています。

## 2 総合計画の期間

第1次菊川市総合計画の計画期間は平成19(2007)年度から平成28(2016)年度の10年間で、今回策定した後期基本計画は平成24(2012)年度から平成28年度までの5年間で計画期間とします。

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
基本構想 《将来像》	← 基本構想 →									
基本計画 《方向性・指針》	<b>前期基本計画(終了)</b> 市町村合併を経て、新市将来構想・新市まちづくり計画を基本に菊川市として初めて作成したまちづくりの指針となる計画です。					<b>後期基本計画(策定)</b> 急激な少子高齢化の進行や世界的な経済情勢の衰退などの課題に対応するため、基本的な枠組みは継承しながら見直しました。				
実施計画 《具体的な事業》	←←←←←					←←←←←				

## 3 菊川市を取り巻く時代の潮流

### 社会経済情勢など

#### 社会情勢の変化

- 人口減少社会の到来
- 経済情勢の悪化
- 少子高齢化の進行
- 地方分権の進展

#### 市民意識の変化

- 安全安心に対する意識の高まり
- 市民意識・ニーズの多様化

### 菊川市の現状

#### 人口減少

- 47,502人(平成17年国勢調査)
- ● 47,041人(平成22年国勢調査)

#### 生産年齢人口の減少

- 31,007人(平成17年国勢調査)
- ● 29,800人(平成22年国勢調査)

#### 転入人口 < 転出人口

- 1,300人 < 1,473人(平成22年度)

#### 出生数の減少

- 447人(平成17年度)
- ● 417人(平成22年度)

#### 高齢化率の増加

- 19.9%(平成17年国勢調査)
- ● 21.963%(平成22年国勢調査)

## 4 まちづくりのテーマ

平成17年の国勢調査による人口は47,502人で、平成7年から平成17年までの10年間で1,168人増加しました。しかし、平成22年の国勢調査では47,041人と平成17年と比べ461人減少し、推計よりも早く減少傾向が見られました。

また、年代別人口推移も、平成12年から老年人口(65歳以上)が年少人口(0歳～14歳)を上回り、人口に占める老年人口の割合も年々増加している中で、今後団塊の世代が生産年齢人口(15歳～64歳)から老年人口へ移行することなどに伴い、人口減少・少子高齢化はさらに進むと予想されています。

したがって、これまでの経済成長が続いていた時代の人口増加に対応したまちづくりとは異なり、人口減少・少子高齢化社会に対応した新しい考え方で将来計画を立てていく必要があります。人口は自治体経営の基盤であり、まちづくりを支える力を維持していくためにも、人口の維持は重要な課題です。

今後、菊川市は老年人口の割合が増えていくことから、老年人口世代の皆さんが活躍できる環境を作っていくことは、これからのまちづくりには欠かせません。また、人口減少社会という時代の大きな流れの中で、たとえ人口が減少しても地域の活力を維持し、活性化を進めることが地域のまちづくりには必要です。

こうした将来的な人口動向や本市を取り巻く社会経済情勢などを踏まえ、短期的には人口の確保を、中長期的には人口減少・少子高齢化社会へ対応したまちづくりを進めなければなりません。

後期基本計画では、限られた行政資源を効率的かつ効果的に配分するため「選択と集中」の視点に立ち、「住んでよかった、住みたくなるまち」として、市民にとって住み続けたいと思えるまち、市外の人に住んでみたいと思われるまちづくりを目指します。

# 1

## 共に汗をかくまち 市民・行政

自らが考え自らが行動する市民主体のまちづくりを推進し、市民と行政が役割を分担し、市民参画型の協働によるまちづくりを進めます。

### 1-1 市民活動の推進

～ 市民の力が住み良いまちづくりに活かされているまち ～

#### 主要な施策

- ① 市民活動の推進
- ② 効果的な情報提供の推進
- ③ 市政運営における市民意見の反映

注1

#### 主要な事業

- ア 市民活動推進講座の開催
- イ 県コミュニティカレッジ受講生派遣事業
- ウ コミュニティ活動助成事業
- エ 広報きくがわ発行業務
- オ 市ホームページ運営業務
- カ まちづくり懇談会の開催
- キ パブリックコメント制度の運用
- ク 出前行政講座の開催

#### アンケートによる市民満足度

「市民の力が住み良いまちづくりに活かされているまち」と思う人の割合

●H22年度  
61.4% → 上昇↑

注2

### 1-2 男女共同参画の推進

～ 男女が個人として尊重され、ともに個性や能力を発揮できるまち ～

#### 主要な施策

- ① 社会制度・慣行の見直し、意識改革
- ② 家庭と仕事のバランスがとれる環境づくり
- ③ 職場・地域社会における男女共同参画
- ④ あらゆる市民に対する暴力の根絶

#### 主要な事業

- ア 家庭教育学級、PTA・子ども会などの機会を通じ男女共同参画推進活動の啓発
- イ 審議会等の女性委員の選出促進
- ウ 高齢者世代向けの男女共同参画推進事業
- エ ファミリーフレンドリー企業の普及促進
- オ DV被害者の相談・支援

#### アンケートによる市民満足度

「男女が個人として尊重され、ともに個性や能力を発揮できるまち」と思う人の割合

●H22年度  
51.4% → 上昇↑

注1 サブタイトルとして「あるべきまちの姿」「目指すべきまちの姿」を定めています。

注2 サブタイトルとして定めた「あるべきまちの姿」「目指すべきまちの姿」を「指標」として定め、市民満足度の上昇を目指します。

次ページに  
続きます

# 1 共に汗をかきまち 市民・行政

## 1-3 効果的な行政運営の推進

～ 多様なニーズに対応できる効率的・効果的な行政運営がされているまち ～

- 主要な施策**
- ① 新公共経営の推進
  - ② 組織力の向上
  - ③ 安定した財政基盤の構築
  - ④ 戦略的広報活動の展開
  - ⑤ 広域連携の推進

- 主要な事業**
- ア 行政評価の実施
  - イ 施設や業務への民間活力導入
  - ウ 電子情報システムの有効活用
  - エ 人材育成基本方針の推進
  - オ 人事制度の推進
  - カ 研修制度の推進
  - キ 健全化判断比率の適正化
  - ク 基礎的財政収支の黒字化
  - ケ 市長定例記者会見の実施
  - コ 一部事務組合の運営

**アンケートによる  
市民満足度** 「多様なニーズに対応できる効率的・効果的な行政運営が行われているまち」  
だと思ふ人の割合

●H22年度  
**43.0% → 上昇↑**



# 2 安心していきいき暮らせるまち 福祉・健康

少子高齢化社会を迎え、乳児から高齢者まで、すべての人たちが安心して健康で自立した生活をおくることができるまちづくりの実現を目指します。

## 2-1 健康づくりの推進

～ 心身ともにすこやかに生活できるまち ～

- 主要な施策**
- ① 母子保健事業の実施
  - ② 検診事業の実施
  - ③ 健康相談事業等の実施
  - ④ 感染症予防対策の実施
  - ⑤ 健康づくり事業の実施
  - ⑥ こころの健康管理

- 主要な事業**
- ア こんにちは赤ちゃん事業の実施
  - イ 特定健診、総合がん検診の実施
  - ウ 健康チェックの日(健康相談)の実施
  - エ 運動教室等の実施
  - オ 精神保健福祉講演会の開催
  - カ 新型インフルエンザ対策

**アンケートによる  
市民満足度** 「心身ともにすこやかに生活できるまち」だと思ふ人の割合

●H22年度  
**79.5% → 上昇↑**



## 2-2 地域福祉の推進

～ 地域において住民同士が支えあうまち ～

- 主要な施策**
- ① 地域福祉の活性化
  - ② 地域福祉の担い手への育成・支援
  - ③ 生活相談・各種支援の充実

- 主要な事業**
- ア 災害時における要援護者避難支援対策の推進
  - イ 地域福祉の啓発・普及
  - ウ 地域福祉活動団体への支援
  - エ 民生委員児童委員・主任児童委員との連携
  - オ ボランティアの育成
  - カ 生活保護制度等の適正運営による自立助長
  - キ 孤立・無援社会に対応した施策の推進

**アンケートによる  
市民満足度** 「地域において住民同士が支えあうまち」だと思ふ人の割合

●H22年度  
**75.5% → 上昇↑**

## 2-3 子育て支援体制の充実

～ 安心して子どもを育てられるまち ～

**主要な施策**

- ① 地域における子育て支援
- ② 子育て世代への経済支援
- ③ 子育て意識の啓発

**主要な事業**

- ア 子ども手当、通院・入院医療費助成、子育て優待カード
- イ 保育園・幼稚園の運営
- ウ 放課後児童クラブの充実、ファミリー・サポートセンターの利用拡大
- エ 子育て支援センターや児童館の運営
- オ 母親クラブの支援、子育てボランティアの支援、子育てサポーターの育成
- カ 家庭児童相談事業
- キ 幼保一体化施設の整備

**アンケートによる  
市民満足度**

「安心して子どもを育てられるまち」だ  
と思う人の割合



## 2-5 介護保険事業の推進

～ 高齢者とその家族を支える介護サービスが充実しているまち ～

**主要な施策**

- ① 介護サービスの充実
- ② 介護予防事業の推進

**主要な事業**

- ア 居宅サービス事業（訪問介護、訪問入浴、通所介護（デイサービス）等）
- イ 施設サービス事業（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）
- ウ 地域密着型サービス事業（認知症高齢者グループホーム、老人保健施設）
- エ 地域支援事業（介護予防事業、包括的支援事業）

**アンケートによる  
市民満足度**

「高齢者とその家族を支える介護サー  
ビスが充実しているまち」だと思  
う人の割合



## 2-7 地域医療体制の充実

～ 市民に質の高い医療サービスが提供できるまち ～

**主要な施策**

- ① 地域連携推進による地域医療満足度の向上
- ② 病院機能強化による安心・安全な医療の提供
- ③ 意識改革と継続的な経営改善の実行
- ④ 市保健予防担当課と菊川市立総合病院との連携および、財政支援
- ⑤ 菊川市立総合病院、市保健予防担当課と小笠医師会、小笠歯科医師会、小笠薬剤師会との連携

**主要な事業**

- ア 行政・医療・保健・福祉の連携の強化
- イ 患者サービス向上のための施設整備と情報の発信
- ウ 家庭医養成プログラムの推進・看護体制の充実など人材の確保
- エ 回復期リハビリテーション病棟・精神科病棟・助産師外来など診療機能の強化
- オ 電子カルテ・オーダーリングシステムなど電算システムの有効活用
- カ 医療安全・感染対策など医療安全体制の強化
- キ 中長期的な視点に立った経営組織の強化
- ク 高度医療機器の利用率向上・上位施設基準の取得の検討など収益の確保
- ケ 小笠掛川保健・福祉・医療研究会  
(菊川市、掛川市、御前崎市における保健・福祉・医療・行政及び市議会)
- コ 保健連絡会 (市内医師会、歯科医師会、薬剤師会、菊川病院及び、菊川市)

**アンケートによる  
市民満足度**

「市民に質の高い医療サービスが提供  
できるまち」だと思  
う人の割合



## 2-4 長寿・生きがい対策の推進

～ 高齢者が生きがいを持ち、すこやかに暮らせるまち ～

**主要な施策**

- ① 健康長寿のための社会参加支援
- ② 健康長寿のための自立生活支援事業
- ③ 高齢者の見守り事業

**主要な事業**

- ア 地域における「生きがいサロン」の支援
- イ シルバー人材センター事業への参加促進
- ウ 緊急通報システム設置事業
- エ 敬老会開催
- オ 認知症サポーター養成講座

**アンケートによる  
市民満足度**

「高齢者が生きがいを持ち、すこやかに  
暮らせるまち」だと思  
う人の割合



## 2-6 障がい者福祉の充実

～ 障がいのある人が安心して暮らすことができるまち ～

**主要な施策**

- ① 障がいのある人の生活支援・福祉サービスの充実
- ② 障がいのある人の社会参加の促進

**主要な事業**

- ア 相談事業・生活支援事業の充実
- イ 在宅支援サービスの充実
- ウ コミュニケーション事業の拡充
- エ 自立支援サポーターの育成
- オ 障がいに対する理解の啓発

**アンケートによる  
市民満足度**

「障がいのある人が安心して暮らすこ  
とができるまち」だと思  
う人の割合



学校教育や社会教育を通して、地域を愛し豊かな知性や感性を持った市民の生涯学習を支援します。

### 3-1 学校教育の充実

～ 確かな学力と思いやりに満ちた学校づくりがされたまち ～

#### 主要な施策

- ① 確かな学力、豊かな感性、健やかな心身の育成
- ② 家庭地域との連携のもと、社会の変化に対応できる学校づくり
- ③ 教育環境・施設等の整備と支援
- ④ こころざしをもった頼もしい教職員の育成
- ⑤ 学校給食の充実

#### 主要な事業

- ア 特別支援教育の推進
- イ 各種教職員研修の充実
- ウ 外国人児童生徒教育支援の推進
- エ デジタルテレビ活用支援
- オ 心の教室相談員委託活用
- カ 幼稚園、小中学校施設整備事業
- キ 要保護、準要保護世帯の児童生徒への援助
- ク 安心・安全なおいしい給食作りの実施
- ケ 食育及び地産地消の推進

#### アンケートによる市民満足度

「確かな学力と思いやりに満ちた学校づくりがされたまち」だと思う人の割合

●H22年度  
59.4% → 上昇↑

### 3-3 生涯学習の充実

～ 生涯にわたり様々な学習機会に参加できるまち ～

#### 主要な施策

- ① 生涯学習活動の推進
- ② 読書活動の推進
- ③ 図書館の適正な管理運営

#### 主要な事業

- ア 各種講座の開設
- イ 自主講座の開設支援
- ウ 生涯学習だよりの発行
- エ 図書資料の整備・充実
- オ 図書館ボランティアの育成・支援
- カ 図書館運営の検討



#### アンケートによる市民満足度

「生涯にわたり様々な学習機会に参加できるまち」だと思う人の割合

●H22年度  
59.4% → 上昇↑

### 3-5 文化活動の振興

～ 市民が気軽に芸術文化にふれられるまち ～

#### 主要な施策

- ① 市民文化・芸術活動の推進
- ② 文化・芸術活動拠点の充実

#### 主要な事業

- ア 菊川市文化祭、菊川市写生大会、菊川美術展、書初め展等の開催
- イ 文化協会との連携
- ウ 文化会館アエル指定管理者との連携

#### アンケートによる市民満足度

「市民が気軽に芸術文化にふれられるまち」だと思う人の割合

●H22年度  
56.0% → 上昇↑

### 3-2 次世代を担う人づくりの推進

～ 地域全体で子どもや青少年を守り育てるまち ～

#### 主要な施策

- ① 豊かな感性と社会性を育む活動の推進
- ② 地域での子どもの支援
- ③ 家庭教育の推進

#### 主要な事業

- ア ボランティア活動の推進
- イ 家庭教育学級の開設
- ウ 学校支援地域本部事業
- エ 地域の青少年声掛け運動
- オ 青少年健全育成事業
- カ 子ども110番の家、スクールガード



#### アンケートによる市民満足度

「地域全体で子どもや青少年を守り育てるまち」だと思う人の割合

●H22年度  
65.2% → 上昇↑

### 3-4 歴史・文化遺産の継承と活用

～ 郷土の歴史文化が尊重され生かされているまち ～

#### 主要な施策

- ① 文化財の保護・継承
- ② 文化財の周知・活用
- ③ 埋蔵文化財の保護・発掘

#### 主要な事業

- ア 指定文化財の管理・保護事業
- イ 文化財の活用
- ウ 黒田家代官屋敷資料館運営事業
- エ 観光事業との連携
- オ 埋蔵文化財発掘調査事業

#### アンケートによる市民満足度

「歴史・文化遺産が尊重され生かされているまち」だと思う人の割合

●H22年度  
58.3% → 上昇↑

### 3-6 スポーツ活動の振興

～ スポーツをととして市民が健康で、生きがいをもって生活できるまち ～

#### 主要な施策

- ① 一人1スポーツの奨励
- ② 地域に根ざしたスポーツグループ・クラブの育成
- ③ 地域に根ざした生涯スポーツ環境整備
- ④ スポーツ施設の適正な運営・管理
- ⑤ スポーツ振興施策の体系化

#### 主要な事業

- ア 総合型地域スポーツクラブの支援
- イ 体育指導委員活動
- ウ 市スポーツ大会の開催
- エ 指導者の養成
- オ 体育施設の運営管理
- カ スポーツ振興基本計画の策定

#### アンケートによる市民満足度

「スポーツをととして市民が健康で、生きがいをもって生活できるまち」だと思う人の割合

●H22年度  
67.8% → 上昇↑

# 4

## 笑顔がうまれるまち コミュニティ

市民が主体となり、伝統的な地域のよさや人の温かさを体感できる、交流のまちづくりを目指します。

### 4-1 地域コミュニティの推進

～ 住んでいる地区のコミュニティ活動が活発なまち ～

主要な施策

① 地区コミュニティの推進

主要な事業

ア 1%地域づくり活動交付金事業の充実  
イ コミュニティ協議会への支援  
ウ 市民参加意識の向上、  
1%地域づくり活動交付金活動報告会

アンケートによる  
市民満足度

「住んでいる地区のコミュニティ活動が活発なまち」であると思う人の割合

●H22年度  
66.9% → 上昇↑

### 4-3 若者参加の地域づくりの推進

～ 若者が地域づくりに参加しているまち ～

主要な施策

① 各種団体の情報交換・話し合いの機会の提供  
② 子どもの社会参画の支援  
③ 若者意見の市政への反映

主要な事業

ア 青年団活動の支援  
イ 中学・高校生の生徒会活動と地域づくり活動の検討  
ウ 小学校における総合学習での地域活動の導入  
エ 各種団体の交流も含めた意見交換会の開催

アンケートによる  
市民満足度

「若者が地域づくりに参加しているまち」だと思う人の割合

●H22年度  
42.3% → 上昇↑

### 4-2 外国人との共生の地域づくりの推進と交流活動の活性化

～ 市内に住む外国人が地域社会に受け入れられているまち ～  
～ 交流を通して地域に賑わいのあるまち ～

主要な施策

① 多文化共生の推進  
② 交流活動の活性化

主要な事業

ア 地域主催の外国人交流事業への支援  
イ 外国人住民への各種情報の提供  
ウ 外国人集住都市会議等への参加  
エ 外国人住民との懇談会の開催  
オ 国際交流協会への活動支援  
カ 地域間交流事業の推進

アンケートによる  
市民満足度

「市内に住む外国人が地域社会に受け入れられているまち」だと思う人の割合

●H22年度  
58.5% → 上昇↑

「交流を通して地域に賑わいがあるまち」だと思う人の割合

●H22年度  
50.0% → 上昇↑



# 5

## 輝くみどりのまち 環境

自然環境との調和やリサイクルの推進、地球規模の環境問題に配慮します。また、茶畑や水田、里山に囲まれ、花が咲き水もきれいで、みどりが映える豊かで住みやすいまちづくりを目指します。

### 5-1 水質保全対策の促進

～ 水質が保全され川がきれいなまち ～

主要な施策

① 生活・工業排水対策の取り組み  
② 水質浄化への取り組みと啓発

主要な事業

ア 公共下水道、合併浄化槽等の整備  
イ 浄化槽の保守点検や法定検査の周知  
ウ 河川水質調査及び工場排水監視の実施  
エ 生活排水の水質浄化に向けた普及啓発

アンケートによる  
市民満足度

「水質が保全され川がきれいなまち」だと思う人の割合

●H22年度  
43.5% → 上昇↑

### 5-2 自然環境の保全

～ 自然環境と共生するまち ～

主要な施策

① 自然環境の保全  
② 自然公園の維持管理  
③ 水辺環境の保全と整備

主要な事業

ア 農地・水・環境保全向上対策の推進  
イ 耕作放棄地対策事業  
ウ 森の力再生事業  
エ 市民による花いっぱい運動の支援  
オ 地元団体による環境保全活動、イベントの支援  
カ 河川愛護事業の推進

アンケートによる  
市民満足度

「自然環境と共生するまち」だと思う人の割合

●H22年度  
68.4% → 上昇↑

### 5-3 循環型社会の推進と環境衛生の充実

～ 環境保全活動が活発に行われているまち ～

主要な施策

- ① 循環型社会の推進
- ② 環境意識の高揚
- ③ 環境衛生施設の充実

アンケートによる  
市民満足度

「環境保全活動が活発に行われている  
まち」だと思う人の割合

●H22年度  
60.5% → 上昇↑

主要な事業

- ア 市内一斉清掃の推進  
イ リサイクル活動の支援
- ウ 家庭における  
太陽光エネルギーの導入促進
- エ 市民向けの環境学習会や  
研修会の開催



# 6

## 躍進する産業のまち

産業

菊川市の農業・商業・工業・観光それぞれの産業振興を推進し、  
躍進する産業のまちを目指します。

### 6-1 農業振興と次世代農業の育成

～ 安全・安心で魅力ある農産物の生産されるまち ～

主要な施策

- ① 農地の効果的な整備・集積
- ② 担い手の確保・育成
- ③ 農業経営基盤の強化
- ④ 農業委員会の運営

主要な事業

- ア ほ場整備事業
- イ かんがい排水事業
- ウ 農業生産法人の育成・支援
- エ 担い手への農用地利用集積
- オ 米の安定化対策(戸別所得補償等)
- カ 学校給食地産地消推進事業

アンケートによる  
市民満足度

「安全・安心で魅力ある農作物が生産  
されているまち」だと思う人の割合

●H22年度  
79.1% → 上昇↑

### 6-3 工業振興・新産業創出と企業誘致の推進

～ 工業発展により市内経済が活性化されたまち ～

主要な施策

- ① 工業の振興
- ② 新産業創出の推進
- ③ 企業誘致の推進

主要な事業

- ア 進出企業に地域産業立地事業補助金の拠出
- イ 電源立地制度の情報提供
- ウ 地域経済活性化懇話会における新産業創出の検討
- エ ニーズに応じた新たな工業用地の検討
- オ 進出企業との連絡調整
- カ 中小企業への融資等の情報提供

アンケートによる  
市民満足度

「工業発展により市内経済が活性化さ  
れたまち」だと思う人の割合

●H22年度  
39.1% → 上昇↑

### 6-2 商業振興と既存商店街の活性化

～ 商店街が賑わい、市全体に活気があるまち ～

主要な施策

- ① 商業の振興
- ② 既存商店街の活性化

主要な事業

- ア 新規店舗参入補助金交付事業
- イ 商工会との連携による消費拡大事業などの支援
- ウ 販売促進手法の創出
- エ 地域ブランドの検討

アンケートによる  
市民満足度

「商店街が賑わい、市全体に活気があ  
るまち」だと思う人の割合

●H22年度  
18.7% → 上昇↑

### 6-4 観光資源の発掘とネットワークの形成

～ 観光交流が盛んなまち ～

主要な施策

- ① 広域的な連携強化、静岡空港の利用促進
- ② 市内観光資源の発掘
- ③ 市観光協会との連携及び支援
- ④ 市内観光施設の維持管理

主要な事業

- ア 市観光協会及び周辺市町等との連携による  
観光PRと誘客
- イ 新たな観光資源の発掘と観光ルートの検討
- ウ 観光イベントの開催による情報発信
- エ 観光資源・施設の保護・維持管理
- オ 保養センター小菊荘の運営管理への支援

アンケートによる  
市民満足度

「観光交流が盛んなまち」だと思う人の  
割合

●H22年度  
26.0% → 上昇↑

### 6-5 菊川茶の振興

～ 魅力ある菊川茶が生産されているまち ～

主要な施策

- ① 安定的な茶業の振興
- ② 茶消費の拡大
- ③ 茶文化継承

主要な事業

- ア 茶生産経営体育成推進事業
- イ 茶園共同管理等機械化推進事業
- ウ 茶園再編整備事業
- エ 安全安心の菊川茶生産推進事業
- オ 茶業関係団体  
(菊川市茶業協会、茶生産者団体、  
手揉保存会等)の支援

アンケートによる  
市民満足度

「魅力ある菊川茶が生産されているまち」だと思う人の割合

●H22年度  
73.1% → **上昇↑**



# 7

## 安全・便利・快適なまち **都市基盤**

調和のとれた計画的な土地利用を推進し、  
快適で安全な都市基盤や生活環境の整備・機能強化に努めます。

### 7-1 調和のとれた土地利用推進

～ 市街地と自然環境の調和のとれたまち ～

主要な施策

- ① 適正な土地利用の推進
- ② 調和のとれた土地利用の実現方策の検討

主要な事業

- ア 都市計画の見直し
- イ 農業振興地域整備計画の策定
- ウ 菊川市土地利用事業の適正化に関する指導要綱の見直し
- エ 耕作放棄地対策事業(再掲)

アンケートによる  
市民満足度

「市街地と自然環境の調和のとれたまち」だと思う人の割合

●H22年度  
68.4% → **上昇↑**

### 7-2 まちの拠点整備の推進

～ 駅やインター周辺、下平川地区などの市街地に賑わいがあるまち ～

主要な施策

- ① JR菊川駅周辺地区の整備
- ② 東名菊川インターチェンジ周辺地区の整備
- ③ 下平川周辺地区のまちづくり

主要な事業

- ア 土地区画整理事業の推進
- イ 潮海寺地区地区計画の推進
- ウ 下平川地区まちづくりの検討

アンケートによる  
市民満足度

「駅やインター周辺、下平川地区などの市街地がにぎわっている」と思う人の割合

●H22年度  
27.9% → **上昇↑**

### 7-3 道路ネットワークの整備促進

～ 市内外へスムーズに移動できる道路整備がされたまち ～

主要な施策

- ① 整備計画の策定・公表
- ② 地域を結ぶ幹線道路の整備促進
- ③ 生活道路の整備促進
- ④ 道路の適切な維持管理

主要な事業

- ア 掛川浜岡線バイパス整備事業  
(奈良野下平川線・赤土高橋線)
- イ 都市計画道路朝日線改良工事
- ウ 都市計画道路赤土嶺田線改良工事
- エ 道路改良整備事業
- オ 橋梁長寿命化修繕計画

アンケートによる  
市民満足度

「市内外にスムーズに移動できる道路整備がされたまち」だと思う人の割合

●H22年度  
60.7% → **上昇↑**

### 7-4 上水道事業の推進

～ 上水道が安心して飲め、安定して供給されているまち ～

主要な施策

- ① 水資源の確保と水質管理
- ② 管路の整備及び改良
- ③ 水道施設の管理
- ④ 経営計画の策定

主要な事業

- ア 富田浄水場・公文名浄水場統合
- イ 認可計画に基づく配水管の整備
- ウ 老朽管の整備
- エ 水質検査計画に基づく水質検査
- オ 水道事業基本計画に基づく経営計画策定

アンケートによる  
市民満足度

「上水道が安心して飲め、安定して供給されているまち」だと思う人の割合

●H22年度  
85.6% → **上昇↑**

### 7-5 公園・緑地の整備促進

～ 公園・緑地が整備され、市民が憩いの場として利用できるまち ～

**主要な施策**

- ① 公園等の整備
- ② 公園等の維持管理

**主要な事業**

- ア 都市公園整備事業(宮の西公園、川原公園)
- イ 既存公園の維持管理
- ウ 緑の基本計画策定

**アンケートによる  
市民満足度**

「公園・緑地が整備され、市民の憩いの場として利用できるまち」だと思ふ人の割合

●H22年度  
**68.8%** → **上昇↑**

### 7-7 公共交通の整備促進

～ 利用しやすい交通手段が確保されたまち ～

**主要な施策**

- ① J R菊川駅を利用した市外との移動手段の充実
- ② 市内での交通空白地域及び不便地域の解消

**主要な事業**

- ア 「パーク・アンド・ライド」の推進手法の検討
- イ 民間路線バス・タクシーの確保
- ウ 地域公共交通会議の開催  
(公共交通のあり方の検討等)

**アンケートによる  
市民満足度**

「利用しやすい交通手段が確保されたまち」だと思ふ人の割合

●H22年度  
**46.9%** → **上昇↑**

### 7-9 消防体制の強化促進

～ 安全・安心なまちづくりのための、火災・救急体制が整備されたまち ～

**主要な施策**

- ① 消防体制の充実、強化
- ② 市民の防火意識の高揚
- ③ 市民の応急手当法の啓蒙

**主要な事業**

- ア 中東遠消防救急通信指令センターの共同運用
- イ (仮称)東遠地区消防本部を設立、広域による消防活動の運用
- ウ 消防救急及び消防団無線のデジタル化の構築
- エ 菊川市消防本部・消防署の移転
- オ 防火教室の開催
- カ 普通救命講習等の開催、応急手当の知識と技術の普及
- キ 消防団組織及び施設等の充実、女性消防団活動の推進

**アンケートによる  
市民満足度**

「安全・安心なまちづくりのための火災・救急体制の整備されたまち」だと思ふ人の割合

●H22年度  
**58.8%** → **上昇↑**



### 7-6 交通安全の推進

～ 交通安全対策が充実し、安全に道路を通行できるまち ～

**主要な施策**

- ① 交通安全活動の推進
- ② 交通安全施設等整備促進

**主要な事業**

- ア 四季の交通安全運動
- イ 交通事故ゼロの日街頭立上り指導、巡回・啓発広報
- ウ 交通教室の開催
- エ 道路反射鏡(カーブミラー)・道路区画線・グリーンベルト・自転車通行帯・道路照明灯・道路標識・道路注意喚起標示等設置工事
- オ 弁護士等による交通事故相談

**アンケートによる  
市民満足度**

「交通安全対策が充実し、安全に道路を通行できるまち」だと思ふ人の割合

●H22年度  
**59.8%** → **上昇↑**

### 7-8 防災対策の強化促進

～ 災害に備え防災対策が整っているまち ～

**主要な施策**

- ① 地域防災対策の強化と地域防災計画の見直し
- ② 市民の防災意識の高揚
- ③ 自主防災組織の育成・強化
- ④ 災害に強いまちの整備

**主要な事業**

- ア 防災拠点整備・公共施設耐震化・防災資機材整備事業
- イ 防災訓練
- ウ 自主防災育成事業
- エ 要援護者への支援体制の整備
- オ プロジェクトTOUKAI(東海・倒壊)ー0
- カ 急傾斜地崩壊対策事業
- キ 地域防災計画の見直し
- ク 環境放射能測定監視・原子力広報事業
- ケ 雨水流出抑制対策事業

**アンケートによる  
市民満足度**

「災害に備え防災対策が整っているまち」だと思ふ人の割合

●H22年度  
**45.5%** → **上昇↑**

### 7-10 防犯対策の強化促進

～ 防犯対策が充実し安心であるまち ～

**主要な施策**

- ① 防犯体制の強化
- ② 防犯活動の充実
- ③ 消費者利益の擁護・増進

**主要な事業**

- ア 青色回転灯装着車両による防犯パトロール事業
- イ 防犯灯設置事業
- ウ 悪質商法に関する啓発事業
- エ 消費生活センターの機能強化
- オ 高齢消費者・障がい消費者「見守りネット」の連携強化

**アンケートによる  
市民満足度**

「防犯対策が充実し安心であるまち」だと思ふ人の割合

●H22年度  
**58.1%** → **上昇↑**

7-11 若者定住基盤の推進

～ 若者・子育て世代に「住みたくなるまち」として選ばれるまち ～

主要な施策

- ① 子育て環境の充実
- ② 学校教育の充実
- ③ 雇用の確保
- ④ 住環境の整備
- ⑤ 部局を横断した庁内推進体制の整備

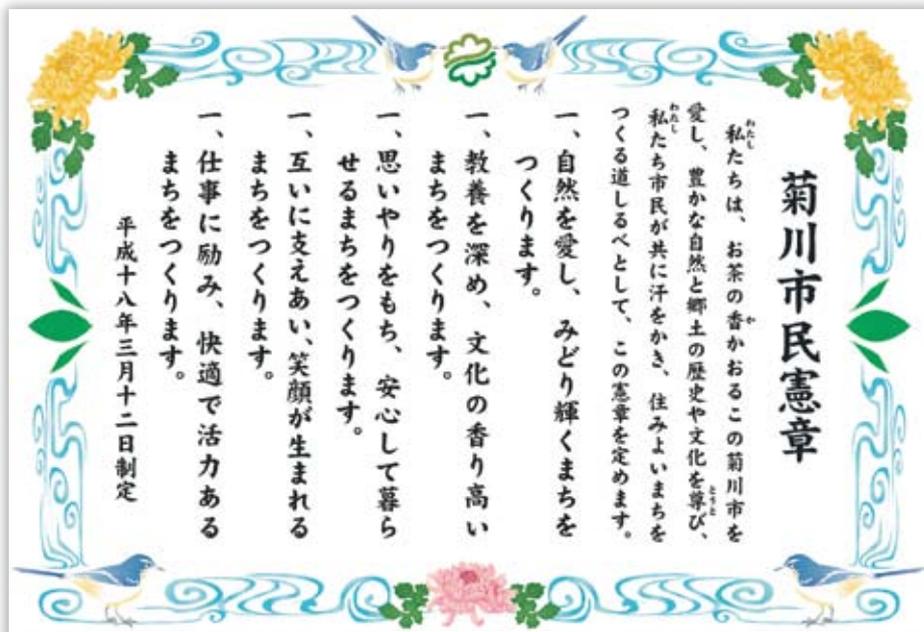
アンケートによる  
市民満足度

「若者・子育て世代に「住みたくなるまち」として選ばれるまち」と思う人の割合

●H22年度  
47.9% → 上昇↑

主要な事業

- ア 放課後児童クラブの充実、ファミリー・サポートセンターの利用拡大(再掲)
- イ 幼稚園、小中学校施設整備事業(再掲)
- ウ 地域経済活性化懇話会における新産業創出の検討(再掲)
- エ 都市公園整備事業(再掲)
- オ 定住推進プロジェクトの推進



市の花  
「菊」



市の木  
「茶」



市の鳥  
「キセキレイ」



菊川市の市章

菊の花と菊川の流れをモチーフに、2町が合併し一つの市となる様子をデザイン。

菊川茶に代表される自然を生かした産業豊かな市の特徴を、2色の緑で表現している。現在から未来へと受け継がれる、人と緑が共にいきいきと発展する姿を表現している。

菊川市

総務企画部 企画政策課

〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地 電話番号:0537-35-2111

【ホームページ】

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/>

平成23年12月発行